

—お詫びと訂正—

① かいほう 183号 16ページ 25行目

「…弊社の社長と副社長が…」は「…弊社の副社長が…」の誤りでした。
お詫びして訂正させていただきます。誠に申し訳ございません。

② かいほう 183号 2ページ 研究大会参加記

「匿名希望 S区 M Jさん」とは別に、「S区匿名希望さん」からも
ご寄稿いただきましたが、編集ミスで落丁しておりました。
取り急ぎホームページに掲載させていただきました。
次号かいほう 184号にも、改めて掲載させていただきます。
たいへん失礼いたしました。誠に申し訳ございません。

今後はこのような事が無いよう、編集・校正には細心の注意を払います。
今年度も、かいほうとホームページをよろしくお願い申し上げます。

広報部長 小野 明

☆追加掲載☆ かいほう183号 一研究大会参加記一

都公小事研究大会に参加して

S区匿名希望

研究大会当日はあいにくの雪、それも記録的大雪。

そんな天候の中、津田ホールで行われた研究大会にはたくさんの方が参加してしていました。当初は一日参加の予定でしたが、副校長不在のため電話当番を仰せつかり午後からの参加となったため、研究協議1「昭島市学校徴収金事務について」を聞き逃してしまいました。

S区では学校徴収金事務の担当者は各学校でそれぞれです。我が校では、給食費及び教材費も事実上は事務職員一人が抱えている状況であり、事故防止の点やスムーズな事務処理や事務量の軽減等が課題になっています。「学校徴収金口座振替システム」の導入により、事務職員がどのようにかかわるようになったのか、導入の結果はどうだったのか等是非ききたかったので大変残念でした。

一番楽しみにしていた墨田支部の研究協議2「いま、文具が面白い」では、墨田区の歴史や観光名所の案内があり、墨田トリフォニーホールとサントリー本社ビル位しか知らない私は、とても興味深々で聞かせていただきました。スカイツリーは墨田区にあるということ（恥ずかしい!）、スカイツリー内商業施設ソラマチ内に「すみだまち処」いう区の産業観光プラザが有り町興しに力を入れていることも初めて知りました。

本題の文房具については、日本ではじめてシャープペンシル（金属製繰出鉛筆）をつくった早川金属工業は元々は墨田区にあり、現在の「シャープ」の前身だったこと、皆様ご存知の「ぺんてるのサインペン」が国内より先にアメリカ大統領に気に入られ、さらに無重力空間でもインク漏れがしないとして宇宙にまで持っていかれた優れものだったこと等、ただの文房具紹介ではなく逸話や文房具の使用感の動画なども交え、わかりやすく工夫された内容でした。

先生たちは採点のために年間大量の赤ペンを使います。ぺんてるの赤サインペンがいいな（でも少し高いよね）、もっと細くて硬いのがいい（何種類も揃えられないよ）、このペン長持ちしないみたい（安いからかしら）と要求もさまざま。たかが赤ペンですが、予算とにらめっこしながら日々文房具を購入する事務職員にとっては、役に立つ仕事にも密接したこんな研究も楽しいなと思いました。

本部研究報告「事務の共同実施について」では、共同実施とは何か、なぜ都教委は導入しようとしているのかが再確認できました。また、現在試行されている2地区の現状と課題の報告もありました。私は報告を聞きながら、資料の中にある「転入者の声、他局等からみた義務制という職場について」の内容も、今後を考える上で考慮していかなければならないことなのではないかと思いました。これらの内容がこの共同実施で解決されていくのか、それとも返って混乱を増すのか。一方的な見方ではなく多角的な視点で検討していく必要があるように感じました。